

各委員会より報告

総務委員会

委員長 石川 直哉（安積黎明高校）

平成30年度委員会活動方針のもと、次の活動を行いました。

① 全国高P連等からの義援金の扱いについて

7月31日に開催した総務委員会で相双地区各高校への配分案を決定し、8月17日に小高産業技術高校において贈呈式を行いました。一般社団法人全国高等学校PTA連合会を通して全国の高等学校PTA会員から寄せられた東日本大震災に係る義援金（第10次分、102万円）並びに東京都公立高等学校PTA連合会からの義援金（23万円）合わせて125万円を、相双地区の各高校に贈りました。

② 本会の高校生総合補償制度の運営について

10月15日に臨時総務委員会を開催し、3社からの補償制度見積提案を慎重に比較検討した結果、1社の保険運営会社を選定いたしました。

進路対策委員会

委員長 鈴木 則夫（平工業高校）

6月に委員の選出が行われ、いわき地区の平工業高校が県の事務局となって県の進路対策委員会がスタートしました。10月、12月には、東北高P連進路対策委員会（青森）に参加し、東北が抱える進路対策に関する諸問題の話を聞き、これについて協議をしました。ここで、諸問題を共有し、今後の方策について話し合いました。また、11月2日に行われた県進路対策委員会、いわき地区高P連研修会（就職）は、県商工労働部の御協力のもと、第1部は「生徒の就職に親ができること」と題して、キャリアコンサルタント 今泉理絵 様より話をしていただきました。AI時代は不可逆的でそれに乗っかっていくしかないこと、自分が考えていた職業に就いている生徒の親は少数で、さらに思い描いたキャリアを進んでいる親は極僅かであることから、親ができることは子どもの考えに寄り添うこと、子どもに柔軟性をもたせることであるという話をしていただきました。第2部は、コーディネーターに福島大学教授（福島イノベーションコースト構想）小沢喜仁 様、パネリストに東洋システム(株)代表取締役社長 庄司秀樹 様、(株)東日本計算センター代表取締役 鷺 弘樹 様、常磐共同ガス(株)代表取締役 猪狩謙二 様をお迎えして、パネルディスカッションが行われました。3社とも地元いわきのことを大事にしており、会社だけのことを考えれば東京などに会社はあった方が良いが、地元産業の活性化とこのための人財（人材）育成を考えると、地元でエネルギーを注いでいきたいということでした。

健全育成委員会

委員長 三瓶亜記子（本宮高校）

今年度の健全育成委員会の活動は、6月13日に東北高P連第1回健全育成委員会が、福島市で開催され、今年度も「絆を育むPTA活動～親子の絆を深め地域とつながる～」をテーマに活動することになりました。7月31日に県高P連健全育成委員会が福島市で開催され、それぞれ今年度の活動方針が了承されました。

昨年同様「登校時一声運動・マナーアップ運動」を各校毎に取り組んで頂きました。地区や学校によりより、多少の違いはあるもののたくさんの保護者、教職員、生徒の方々の参加に感謝致します。11月までの間に、約70校、延べ1,050人程の保護者の皆様にご協力頂きました。ありがとうございます。

8月31日に、東北高P連第二回健全育成委員会が秋田県で開催され秋田県教育委員会での取り組み「大人が支える！インターネットセーフティー」について、スライドやガイドブックを使って講話を頂きました。改めて、ネット利用に対する教育の大切さを実感しました。今年度も「善行賞」への多数の応募、ありがとうございました。

調査広報委員会

委員長 樽川 啓（安積高等学校）

今年度の第1回調査広報委員会は、7月31日県青少年会館で開催され、今年度の活動計画・広報紙コンクールの日程・高P連会報の内容などの検討が行われました。第2回調査広報委員会は、1月24日に開催され、県広報紙コンクールと高P連会報発行の最終確認が行われました。コンクールでは川俣高校、喜多方桐桜高校、福島商業高校が県の代表に選ばれました。

また、今年度より、県の会報をウェブで発信することとなりました。